

3. 札幌管区気象台からの情報提供

気象台からの情報提供

- 令和4年の大雨警報・洪水警報発表回数
- 令和4年の指定河川洪水予報の発表状況
- 地域防災支援の強化
- 水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示
- 早期注意情報の地図表示コンテンツの提供開始
- 「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用



気象庁

札幌管区気象台

Sapporo Regional Headquarters

Japan Meteorological Agency

令和4年の大雨警報・洪水警報発表回数



発表官署	発表地域	警報の種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計	
札幌管区気象台	石狩・空知・後志地方	大雨特別警報														
		大雨警報						1	2	6	3					12
		洪水警報							1	2	3					6
稚内地方気象台	宗谷地方	大雨特別警報														
		大雨警報								4	3	2	1			10
		洪水警報									2	1		1		4
旭川地方気象台	上川・留萌地方	大雨特別警報														
		大雨警報						2	6	3						11
		洪水警報							1	6	4					11
網走地方気象台	網走・北見・紋別地方	大雨特別警報														
		大雨警報					1	2	4	1	1					9
		洪水警報							1	4	1					6
釧路地方気象台	釧路・根室地方	大雨特別警報														
		大雨警報							4	4	1					9
		洪水警報								2	1					3
帯広測候所	十勝地方	大雨特別警報														
		大雨警報							2	2						4
		洪水警報								2	1		1			4
室蘭地方気象台	胆振・日高地方	大雨特別警報														
		大雨警報						2		3	1	1				7
		洪水警報							2		5	2	1			10
函館地方気象台	渡島・檜山地方	大雨特別警報														
		大雨警報						1		9	1	1				12
		洪水警報							2		4					6
合計		大雨特別警報														
		大雨警報						1	8	18	32	10	4	1		74
		洪水警報							7	16	21	3	2	1		50

平成30年の発表回数合計 … 大雨特別警報なし、大雨警報 43回、洪水警報42回
 令和元年の発表回数合計 … 大雨特別警報なし、大雨警報 29回、洪水警報26回
 令和2年の発表回数合計 … 大雨特別警報なし、大雨警報 34回、洪水警報23回
 令和3年の発表回数合計 … 大雨特別警報なし、大雨警報 68回、洪水警報51回
 令和4年の発表回数合計 … 大雨特別警報なし、大雨警報 74回、洪水警報50回

令和4年の指定河川洪水予報の発表状況

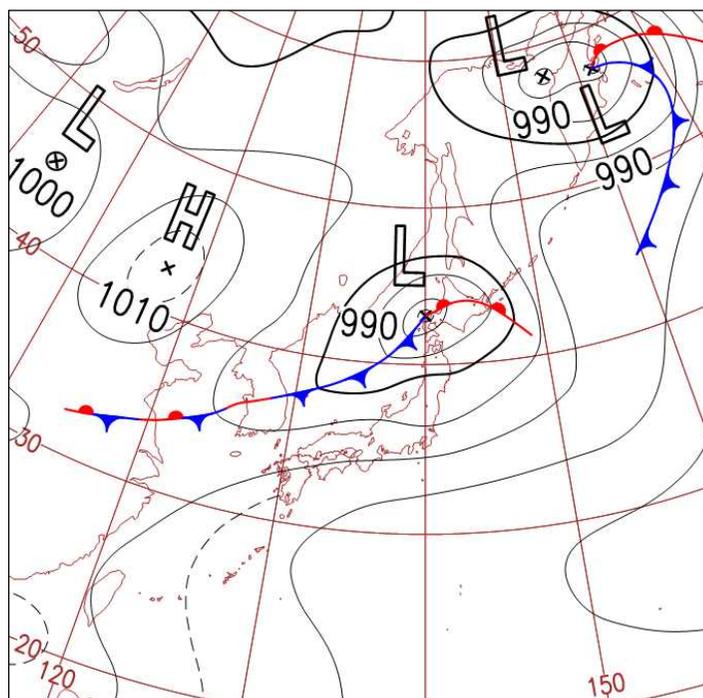
尻別川を対象とした洪水予報のみ抜粋



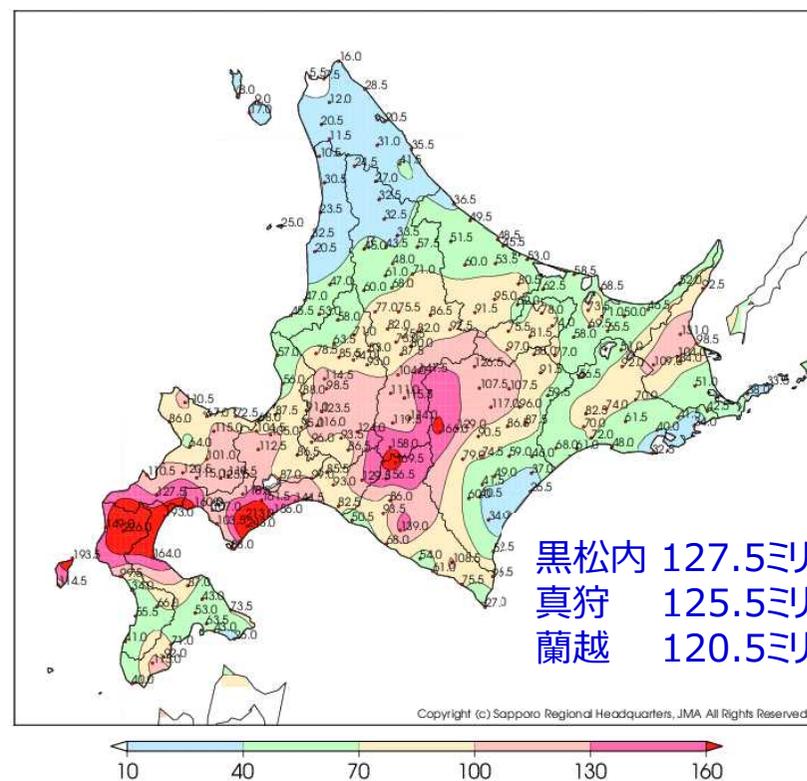
気象庁
札幌管区気象台
Sapporo Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

発表官署	共同発表者	発表年月日	発表時刻	洪水予報名称	番号	情報名
札幌管区気象台	札幌開発建設部	令和4年8月16日	14時50分	尻別川洪水予報	第1号	氾濫注意情報
			22時00分	尻別川洪水予報	第2号	氾濫注意情報解除

令和4年8月16日09時の天気図



令和4年8月15日～17日の降水量



➤ 地域防災支援の強化

■【被害の軽減・早期復旧等のための対策～避難の確保（災害時）～】

<平時>

- 防災気象情報の利活用に関する普及・啓発活動

<異常気象時>

- 適時・的確な防災気象情報の発表
- 災害発生時、または発生が見込まれる場合の自治体等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣
- 能動的ホットラインによる防災対応支援

<事後>

- 自治体等と共同での事例の振り返りによる業務へのフィードバックなどに取り組んでいる

「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務の強化

- ・地域毎の災害特性を踏まえた人材配置による「担当チーム」を編成。担当チームの常設により、市町村と緊密な連携関係を構築。



- ・「担当チーム」により、以下のような取組を実施。

気象防災ワークショップの推進

- ・市町村等の防災担当者が防災気象情報を活用して、避難情報の発令など災害発生時の市町村の防災対応を疑似体験。
- ・避難情報の迅速な発令検討判断や伝達等ができるように。



積極的なJETT派遣やホットラインの実施

- ・気象解説等のため積極的にJETTを派遣
- ・ホットラインによる自治体担当者や首長への助言を実施



「振り返り」の業務改善への活用

- ・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック



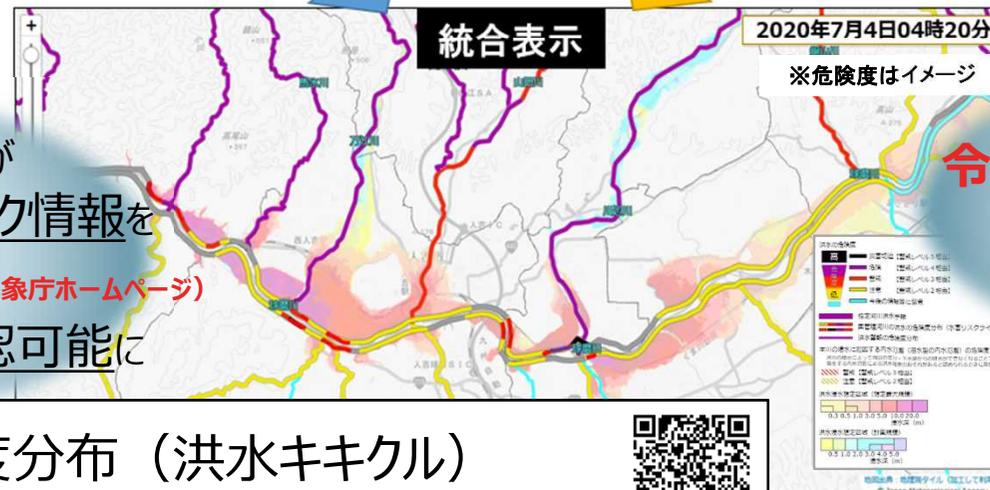
水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示

「国管理河川の洪水の危険度分布※」 (水害リスクライン)

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」 (洪水キキクル)

※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民が
それぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ (気象庁ホームページ)
でワンストップで確認可能に

令和5年2月16日
運用開始

洪水警報の危険度分布 (洪水キキクル)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>



▶ 早期注意情報の地図表示コンテンツの提供開始



令和5年3月14日～

地図表示の例

- ・防災情報のコンテンツに「早期注意情報」の項目を追加しアクセス性を向上
- ・地図形式とし、視認性を向上

2023年01月21日16時発表
全期間（～01/26）の予報

早期注意情報（警報級の可能性）

全て
大雨
大雪
暴風（暴風雲）
波浪
高潮

全て／個別の要素を表示可能

防災情報のコンテンツに追加

石川県加賀		21日					22日	23日	24日	25日	26日
警報級の可能性		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24					
大雨	1時間最大	150mm	150mm	150mm	150mm	150mm					
	3時間最大	250mm	250mm	250mm	250mm	250mm					
24時間最大		500mm									
警報級の可能性									[中]	[中]	[中]
大雪	6時間最大	1	0	0	0	0					
	24時間最大	0									
警報級の可能性											
暴風	最大風速	海上	90kt	90kt	90kt	90kt	90kt				
	陸上	90kt	90kt	90kt	90kt	90kt					
警報級の可能性									[高]	[中]	
波浪	浪高	3	3	2	2	1.5					
	警報級の可能性										
警報級の可能性											
石川県能登		21日					22日	23日	24日	25日	26日
警報級の可能性											
大雨	1時間最大	150mm	150mm	150mm	150mm	150mm					
	3時間最大	250mm	250mm	250mm	250mm	250mm					
24時間最大		500mm									
警報級の可能性											

地図上をクリックすると表形式のページへ画面遷移

予報対象日・時間帯に応じ、早期注意情報の発表状況を地図上に表示する

■ [高]
 警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。

■ [中]
 [高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。

早期注意情報（警報級の可能性）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=probability>

➤「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用



令和5年5月25日～

気象情報の発表条件

- 現在は、**線状降水帯の発生**をもって「顕著な大雨に関する気象情報」を発表しているところ、新たに雨量**予測**も用いて**線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝える**ことを目指す。
- 雨量予測には速報版降水短時間予報を用い、令和5年度の改善においては、**以前より最大で30分程度早く情報を発表**することができる。

気象情報の内容

顕著な大雨に関する〇〇地方気象情報 第1号

令和5年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇気象台発表

(見出し)

これまでの情報文と同じ

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

(本文)

なし

「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用



気象庁
札幌管区気象台
Sapporo Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

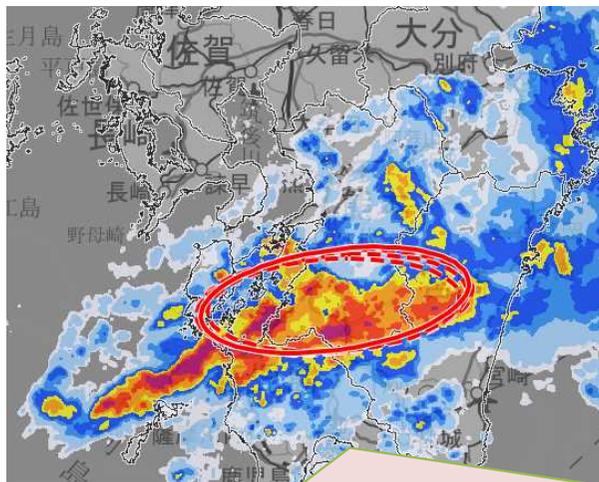
令和5年5月25日～

気象庁ホームページでの表示

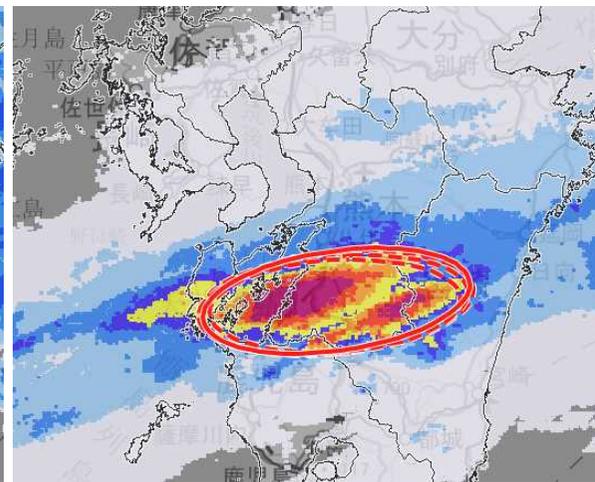
- 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表条件に達した地域を地図上で大まかに把握できるように、気象庁ホームページの「雨雲の動き」、「今後の雨」の地図上に赤楕円で表示する。
- 楕円はあくまで線状降水帯の雨域を大まかに示したものであり、その外側の地域でも大雨による災害発生の危険度が急激に高まっているおそれがあることに留意が必要。

表示例

◆ 「雨雲の動き」



◆ 「今後の雨」(3時間降水量)



大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域 (現在時刻の解析)

大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域 (10～30分先の解析)

ある時刻（現在時刻）に解析された線状降水帯の雨域を実線の楕円で、現在時刻から10～30分先に解析された線状降水帯の雨域を破線の楕円で表示。